

ろうさい ニュース

平成 30 年

4 月号

第 404 号

■新病院長就任あいさつ

浜松労災病院 院長 鈴木 茂彦

私は 1978 年 4 月から 2 年 6 か月間、労災病院初代の形成外科常勤医として勤務していましたので、実に 37 年半ぶりに京都大学から労災病院に病院長として戻ってきました!!

当時医師になってわずか 2 年目の私が任期を全うできたのは、浜松医大皮膚科形成外科診療班におられた先輩医師お二人（お一人は本院元副院長の井上邦雄先生）が定期的に指導に来てくださったこともさることながら、病院全体のバックアップのおかげです。特に印象に残っているのは重症熱傷の患者さんの治療に際し、全身管理に関しては外科や泌尿器科の先生方のご指導が得られ、患部の処置を行うときには病棟の看護師さんが一斉に集まってくれて計画通り手順良く進めることができたことで、救命率が熱傷センターに引けをとらなかったことです。もう 1 つは熱傷後瘢痕拘縮乳房の自家組織による再建手術が当時の杉谷章外科部長の助力のおかげで成功し、私の初めての論文として日本災害医学会誌に掲載されたことです。

この浜松労災病院での熱傷治療体験が、その後の私の専門の創傷治癒研究、瘢痕治療と皮膚再生および再建研究のモチベーションになり、現在市販されている人工真皮の開発につながりました。私の臨床上のもう 1 つの専門領域である口唇口蓋裂など体表面の先天異常の治療でも瘢痕の制御がキーポイントです。また私の大学での最後の研究となった線維芽細胞増殖因子の徐放可能な新型人工真皮も今月中に薬事承認される見込みで、今後ますます増加するとみられる難治性皮膚潰瘍に適応となります。



重症熱傷の治療では医師、看護師だけでなく、薬剤師、放射線技師、臨床検査士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士などを加えたチーム医療の重要性を実感しましたが、このことは熱傷治療だけに限らずすべての疾患の治療に当てはまります。診療科、部門、職種の分け隔てなく一緒になって患者の治療にあたるのが浜松労災病院の原点であり、病院の理念である仁愛につながるものと思います。有井前院長が強調されていた救急医療を積極的に受け入れることも同じ流れだと考えています。

私の医師生活最後の仕上げとして、私を一人前の医師として育ててくれた浜松労災病院の発展のために尽くしたいと思っています。そのために地域との連携を一層大事にしたいと思っています。何卒よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

なお5月から火曜日の午前に形成外科で院長外来を始めます。「キズをきれいに治す」ことをモットーにしています。私の専門である癒痕、ケロイドおよび口唇口蓋裂をはじめとする体表面の先天異常疾患や再建手術を要する患者さんがございましたらご紹介ください。

略歴

昭和 52 年 3 月	京都大学医学部卒業
昭和 52 年 4 月	京都大学医学部附属病院形成外科医員
昭和 53 年 4 月	浜松労災病院形成外科医員
昭和 55 年 9 月	京都大学医学部附属病院形成外科医員
昭和 62 年 3 月	京都大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)
昭和 62 年 4 月	京都大学医学部附属病院 形成外科助手
昭和 63 年 6 月	兵庫県立尼崎病院形成外科医長
平成元年 6 月	京都大学医学部形成外科講師
平成 4 年 10 月	同上 助教授
平成 11 年 11 月	香川医科大学形成外科学教授
平成 15 年 1 月	京都大学医学研究科形成外科学教授
平成 30 年 4 月	独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松労災病院長

学会、研究会の主な役職履歴

日本形成外科学会会長、日本創傷外科学会理事長, 会長、日本口蓋裂学会理事長, 会長、日本創傷治癒学会会長、日本頭蓋顎顔面外科学会会長、日本眼瞼・義眼床手術学会会長、日本形成外科手術手技学会理事長, 会長、日本熱傷学会理事、日本手外科学会副理事長、日本再生医療学会理事、日本バイオマテリアル学会理事、日本組織移植学会理事、日本シュレション外科学会理事、日本美容外科学会評議員、日本炎症・再生医学会評議員、日本褥瘡学会評議員、下肢救済足病学会評議員、日本ホコプラスティックサージャリー学会評議員、癒痕・ケロイド治療研究会会長

その他の主な役職（現職）

日本学術会議連携会員、医薬品医療機器総合機構専門委員、日本スキャンネットワーク理事

■新任医師の紹介

泌尿器科部長 恵 謙



はじめまして、今年度より浜松労災病院泌尿器科に勤務することとなりました恵 謙（めぐみ ゆずる）と申します。

前任病院は市立島田市民病院でした。泌尿器科では、腎がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣がんなどの悪性疾患をはじめ、尿路結石、尿路感染症 さらには前立腺肥大症、骨盤臓器脱など多方面の診療や手術にあたっております。尿路結石や前立腺肥大症の手術はほとんどが内視鏡下の手術ですが、最近では悪性腫瘍の手術もそのほとんどが腹腔鏡下のいわゆる内視鏡手術となっています。従来の開腹術に比し、患者さんの傷の小ささ、痛みの少なさ、術後の回復の速さには目をみはるものがあります。今後も開業医の先生方との連携でさらに患者さんに優しい医療を提供してまいる所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

呼吸器内科副部長 野末 剛史



今年度より呼吸器内科に着任致しました野末剛史と申します。もともと浜松市中区出身で高校も浜松日体高校を卒業している地元育ちです。平成 21 年に琉球大学を卒業した後、遠州病院での初期研修を行い、浜松医科大学、聖隷三方原病院、静岡市立静岡病院での勤務を経て着任し、今年で医師 10 年目となります。

呼吸器内科では高齢者に多い息切れや慢性咳嗽から慢性閉塞性肺疾患や間質性肺炎、気管支喘息、慢性気道感染が見つかることが数多くございます。周辺地域の先生の皆様方に「労災病院へ紹介して良かった」、紹介された患者さんに「労災病院の先生に診てもらえて良かった」と言っただけの医療を提供していければと思います。今後とも病診連携を含めてよろしくお願ひ致します。

消化器外科医師 南角 哲俊



はじめまして、今年度より浜松労災病院消化器外科に着任いたしました卒後 3 年目の南角哲俊（なんかく あきとし）と申します。

東京医科歯科大学を卒業後、初期研修を旧都立系の病院で 2 年間させていただいた後、同大学消化器一般外科に入局いたしまして、この度は縁ありこの地に赴くことになりました。

まだまだ慣れない地域ではありますが、外科医として最初の年をこの地で始めさせていただくことをとても嬉しく思っております。

至らぬ点多々あると思いますが、地域の患者さんに寄り添った診療を心がけていきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

整形外科医師 請田 雄大



平成 30 年 4 月より浜松労災病院整形外科に着任いたしました請田雄大と申します。平成 24 年に山口大学を卒業し、宇治徳洲会病院で初期研修、京都大学整形外科医局に入局し、今回浜松労災病院に勤務することとなりました。浜松労災病院 OB の先生から、とても働きやすい病院であるとお聞きしており、赴任を楽しみにしておりました。手術手技、外来診療ともにまだまだ未熟ではありますが、浜松の地域医療に貢献すべく精進していく所存です。ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導ご教授のほどよろしくお願い申し上げます。

心臓血管外科医師 竹原 真人



この度浜松労災病院に赴任しました心臓血管外科の竹原真人です。力不足で至らないことも多いと思いますが、精一杯努力致しますので、宜しくよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科医師 高岡 直澄



はじめまして、平成 30 年 4 月より浜松労災病院泌尿器科に着任しました高岡直澄と申します。平成 28 年に和歌山県立医科大学を卒業し、大津赤十字病院、京都大学医学部附属病院で初期研修を行いました。その後、京都大学泌尿器科に入局し、浜松で泌尿器科医としてのスタートを切ることとなりました。

中部地方での暮らしは初めてになりますが、浜松の過ごしやすい気候や人柄のよさを感じております。

まだまだ経験が浅くご迷惑をおかけすることがあるとは思いますが、地域医療に貢献できるよう精一杯努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

形成外科医師 牧野 愛子



はじめまして。この度平成 30 年 4 月から浜松労災病院の形成外科に着任いたしました牧野愛子と申します。平成 28 年に大学を卒業後、京都大学医学部附属病院にて初期研修を修了し、この春より浜松労災病院に参りました。出身は関西で中部地方は初めてですが、浜松は気候も良く、人柄も良く、とても住みやすいところと伺っております。まだまだ未熟で不慣れなこともあるかとは思いますが、少しでも地域の皆様に寄り添った医師となれるよう日々精進して参りたいと思います。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

初期臨床研修医 岸本 叡



はじめまして、この度平成 30 年度 4 月から浜松労災病院で初期研修医として勤務させていただくことになりました。岸本叡と申します。

出身は神戸で、大学は奈良県立医科大学でした。生まれも育ちも関西なのでこの浜松という土地で医師としてのスタートを切りだせることに、どこか縁を感じ、嬉しさや期待でいっぱいです。

新たな環境に、まだ右も左も分からず戸惑うことも多いですが、焦らず着実に進んで行き、自分の持つ理想の医師像に近づいていきたいと思しますので今後とも御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

初期臨床研修医 山崎 宏和



はじめまして、平成 30 年 4 月から浜松労災病院で初期研修をさせていただくことになりました、山崎宏和と申します。出身は静岡県で、藤枝東高校、浜松医科大学卒業です。

右も左もわからない新人ですが、日々研鑽を積み、地域に貢献できる医師となれるよう学びたいと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

初期臨床研修医 山本 真嗣



はじめまして、今年度から浜松労災病院で医師として初期研修をさせていただくことになりました、山本真嗣と申します。

愛知県岡崎市出身で藤田保健衛生大学を卒業しています。生まれも育ちも愛知県で、今回初めて県外である浜松市で働かせて頂くこととなります。

1 年目で右も左もわからない状態なのでご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、日々一生懸命学ばせて頂きます。

ご指導・ご鞭撻の程何卒よろしくお願い致します。

リウマチ・膠原病外来の開始のお知らせ

平成30年5月10日（木）から、後藤吉規医師による **リウマチ・膠原病外来**（毎週木曜日 13:30～）が始まります。

地域の関節リウマチをはじめとする膠原病の患者さんの診療にお役に立てれば幸いです。よろしく御願ひ申し上げます。

第32回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成30年5月24日（木）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「**前立腺肥大症の薬物治療と手術手技**」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年5月24日（木）
19:30～20:30
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室
講 師：鶴泌尿器科クリニック 院長 鶴信雄先生



第14回浜松労災病院呼吸器カンファランスの開催について

平成30年6月13日（水）に、浜松労災病院呼吸器カンファランスを下記のとおり開催いたします。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年6月13日（水）
19:30～21:00
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00